

ふたばこども園

園 便 り 7 月 号

ふたばっ子

令和4年7月1日発行

文責 園長 納富博文



あさがお

※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

もう梅雨明け？ 一学期が終わります

28日に北部九州が梅雨明けしたとみられると発表されました。過去最も早く・最短での梅雨明けになるそうです。今週に入り夏の太陽が照りつけ、30度を超える日が続くようになりました。急に暑くなってきたので体調管理が難しくなりますが、皆様、体調はいかがでしょう？

一学期もあとわずかとなりました。20日に一学期の終業式を行い、1号園児は夏休みになります。

今年度もコロナ禍での新学期になりました。オミクロン株の流行により10代未満の子どもたちに感染が広がりました。本園でも、子どもや保護者、兄弟、そして職員等に罹患者があり、流行の拡大が心配されました。しかし、学級閉鎖や「3密回避」の人数制限、マスクの着用など、基本的なコロナ対策に、保護者の方々のご理解とたくさんのご協力を頂きました。「大きな規模の園にしては感染が少ないですね。よく感染を押さえられています。」と県の保健所や佐賀市の保育幼稚園課から褒められるほどでした。

これからも、コロナの感染状況を考慮しながら、コロナ禍でできる園行事や教育・保育等を行っていきたいと思います。保護者の皆様には我慢やご迷惑をおかけすることがあると思いますが、「子どもの命や安全を第一に、コロナ禍でできることをやる」という方向で、工夫しながらやれることに挑戦していきます。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。これから夏本番になります。コロナの感染や健康に気をつけて、おもいっきり夏休みを楽しんで欲しいと願っています。

新規採用の保育士のための公開保育

先月号でお知らせしていましたが、県教育委員会の依頼を受け、6月17日(金)に新採保育士のための公開保育を実施しました。

今年度、県内の保育施設に採用になった先生たちが、子どもが主体的な遊びを行うふたばの教育・保育を参観しました。参観後、ふたばホールで意見交換がありました。新採保育士はいろいろな意見や感想等を出し合い、これからの保育や子ども主体の保育のあり方について、深い学びを行いました。新採保育士の意見や感想を2枚目に掲載していますのでご覧ください。



思いもよらないところでの水難事故(危険予知と防止)



毎年、この時期になると、子どもが川に流され亡くなるという悲しい事故が起っています。河川財団の調査によれば、水難事故は7～8月の約2カ月間で、年間事故件数の約50～60%が発生しているそうです。

そこで、ちょっと気になることがありました。園の横に小さな川(溝)が南北に流れています。川の虫や植物に興味があるからだと思いますが、降園時に、柵(左写真)を乗り越え、川の土手に入っているのを見かけます。川の水は浅く流されるという感じではありませんがとても心配になります。特に、柵を乗り越えるときに誤って溝に落ちないかとハラハラです。一步間違えば、命を落としかねません。子どもたちには、絶対にそんな目にあってほしくありません。是非、ご家庭で水辺のどんな所にどんな危険が潜んでいるかを話し合ってみてください(危険予知)。また、川や水辺での遊び方も併せてご指導ください(危険防止)。

0・1・2歳児 参観後の感想、意見等

- ◇こどもたちが伸び伸びと遊んでいることが印象的だった。
- ◇保育者の数が多く、ゆったりと子どもたちに関われているのがいいなと思った。
- ◇手作り玩具が多くて温かみがあると思った。感触遊びが多くあった。
- ◇先生たちの言葉かけがとても温かく感じた。そして、先生たちが肯定的な声掛けをしていた。
- ◇先生達が子どもの気持ちを共感したり、代弁したりする声掛けであった。
- ◇子どもたちが夢中になって遊んでいて、落ち着いていると思った。
- ◇子どもたちが自由に室内と戸外を行き来しており、子ども自身が自分で選んでいるなと思った。
- ◇先生同士で子どもの事を情報共有している様子を見た。子どもの遊びを邪魔するのではなく、さりげなくされているところがすごいなと思った。
- ◇1歳児は子どもの感覚を大切にされていると思った。足の裏で踏んで違いを感じる環境が床に準備されていた。手や口でもいろいろなことを試せる工夫がされていて、五感を大切にされていると思った。
- ◇私の園では一斉保育なので、みんなで動くことがあたりまえです。今日の保育を見て、正直びっくりしました。
- ◇玩具のお菓子が本物みたいだった(本物のお菓子の袋を使ったもの)。自分の園でも作ってみたい
- ◇2歳児 プランコを押し合う様子が見られた 優しい
- ◇遊びのコーナーが充実していた
- ◇担任が子ども達とたくさん遊んでいる
- ◇「外に行こう」ではなく、「お外でお友達なにをしているかな?」「見に行ってみる?」などの提案がいい
- ◇お絵かきでは、子どもを見守るだけでなく、保育者も楽しんで描いていた 子ども達が嬉しそうだった
- ◇壁面を子ども達と一緒に作っているので、温かみを感じる。
- ◇既製品が少なく、手づくりの玩具がおおく、温かみを感じた。

3・4・5歳児 参観後の感想、意見等

- ◇子どもたちが笑顔で過ごしているのが印象的だった。好きな遊びを十分に楽しめているからかな。(自分の園は設定保育だからそうでない気がする)
- ◇子どもたち目線での遊びが多く、選択できる環境がすごいと思った。
- ◇一緒に遊びを楽しむ先生もいれば、必要以上に声を掛けず、見守る先生もいて勉強になった。
- ◇子どもからの発信が多く、先生たちから提案することが少なく感じた。
- ◇保育室にコーナーがたくさんあったので、好きな遊びを選択出来ていいなと思った。
- ◇開放的で、見やすい空間づくりがされていた。
- ◇自分で使いたい物、必要な物を取れるような工夫をしてある。
- ◇子ども達がのびのびしていて、泣いていないところがすごい。
- ◇子どもに語りかけるようにしていた。つい「ダメだよ」って言うってしまうが、ふたばでは別の言葉、プラスになるような言葉で伝えていた。
- ◇子どもの様子に合わせて、再構成されて、どんどん変わっていた。遊び込める環境だった。
- ◇水遊びで、ペットボトルがバケツになったり、玩具になったりして驚いた。廃材遊びはいいなと思った。既製品の玩具よりも遊んでいた。
- ◇主体性を大事にしているので、子ども達が遊びを見つけ、遊びの中で色んなことを感じやすいと思った。
- ◇ピアノを自由に使うことができるため、子どもの興味関心を伸ばせる。自分の園では触らないように指導しているが、子どもが分かりやすい楽譜を用意している点がよかった。
- ◇制作遊びでは、コーナーの近くに材料や用具が用意してあった。使いやすく、必要な物、足りない物を自分たちで考えられる環境だと思った。
- ◇自分の園では砂場や園庭の利用などにおいて、学年ごとに時間を区切って遊んでいるが、ふたばは各学年と一緒に遊び合っている姿が新鮮だった。
- ◇自分の園では制作遊びは一斉活動で取り組んでいるが、ふたばは一斉ではなく、つくりたい子がつくりたいタイミングで遊んでいるのが良かった。
- ◇保育室の中に様々な環境が用意してあり、用意された環境の中で子どもたちは楽しそうに遊んでいた。
- ◇つくりたい物がうまくできなかった時に、手伝うのではなく、つくれるように援助していたところが良かった。
- ◇保育室の各コーナーはもちろん、廊下も保育の環境として遊びの場になっているのが良かった。
- ◇はさみ、テープ、ダンボールなどの材用や用具を取り出しやすいように工夫してあった。

